



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
5月7日
発行

第87回

「大型連休後の日本株は上昇へ」

～好業績とワクチン接種が株価押し上げ要因に～

初めに

4月21日付当レポート「日本株の底入れは近い」では、「日本株の悪材料は既に出尽くしでありここから上昇に転じる」と予想しました。この見方は今でも変わっていません。今回はこのレポートの続編として、今後の日本株の見通しについて考えます。

企業業績は好調持続

決算発表が始まっていますが、ソニーや任天堂、安川電機、日本電産など製造業は概ね良好なものが多いようです。デジタル化の好影響がそれだけ大きいということでしょう。この流れはまだ続きそうです。

景気の拡大、業績の改善

デジタル化が及ぼす企業業績の改善効果は直接関係ない企業の業績にも及びつつあるようです。例えば落ち込んでいた鋼材需要の回復が追い風になった日本製鉄、また商品高で採算が改善した三井物産など、デジタルや巣籠りなどのコロナ特需とは直接関係ない企業の好決算には注目すべきと考えています。この他に空運は新型コロナによる打撃が最も大きかった業種でしたが、それでもANAが今期黒字化を見込むなど、改善の兆しを見せています。このように企業業績改善の波が広がりつつあることも、日本株の上昇を見込む理由の1つです。

ワクチン接種で新型コロナの脅威は減退

足元はまだコロナの感染拡大に歯止めがかかっていませんが、遅れていたワクチン接種がここに来て広がりを見せています。行き渡るまで時間がかかるとは思いますが、諸外国の例を見てもワクチンは有効なコロナ対策として期待できそうです。ワクチン接種開始も日本株上昇を見込む理由の一つです。

日経平均は3万円を超えて上昇

ここまでお話ししたように企業業績は好調、ワクチン接種も始まるなど日本株を取り巻く状況は改善していると見ています。今後日経平均は3万円を超えて上昇するとの見通しです。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合があります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。